



発行所 西蒲原郡 卷町公民館
編集人 保刈 郡司
印刷所 昭和時報社

年頭のこころば

町長 水 倉 新 作

幾多の思い出を懐して、新しき様態で御協力に依りまします。一九五一年を迎えたのであり、歩一歩ではありましたが、懸案が着実に前進して参つたの、身近くは我々郷土巻町発展のため、更に山積致してあります諸問題を控えたこの年頭に当り、強い決意が痛感されるのであります。

斯く考えます時にマ元帥のメッセージの通り

昨年來の朝鮮動乱の帰趨は、我々にとつてあらゆる点、殊に經濟動向に反映し重大なる影響を及ぼす現実の問題でありましよう。又今年こそは我が国の歴史に新しい一頁を加える待望の講和會議が期待されておりま

更なる私共として最も関心を深めねばならぬ知事、市町村長の改選、縣会、町會議員の選舉が

地方自治の一層の強化確立、郷土發展、我々の福利増進の一大試金石として、我々の眼前にクローズアップされてくるのであります。

一轉して私共の巻町を思いましても、幸いに昨年度は町民の

巻町議會だより

十二月一日 中学校校舎建設委員

一、江端助役より補充金、起償の件について報告。
二、校舎、請負入札の件につき協議をなす。
三、停車場道路の負担金について審議。

十二月五日 中学校校舎建設工事委員会
一、建設委員会より審議を附托せられた。請負入札の事について検討す。
十二月八日 総務委員会建設工事委員会合同にて開催す。
一、工事委員長より請負入札の他について。
二、総務委員に移り町村民税減免申請者について、税務主任より各個人について詳細説明あり、承認を与えた。

十二月十二日 町議會十二月定例会出席十八名
欠席七名欠員一名
一、土地建物取得の件
統計事務局の庁舎を取得して農林省へ移譲すること。
二、土地建物処分について
市町村民税の減免について
三、総務委員会承認の通り決定す。
四、巻町警察職員退職手当支給条例の決定について、原案通り決定に決す。

十二月二十五日 土木委員会
一、建築基準法について、県土木出張所長北村氏、岡村技師の説明を聞く。
二、制水間の工事竣工について報告
三、登雪橋の廃棄材の処理について協議。
四、割前筒取入口の設計について設計者と再協議をなすこととす。
十二月廿六日 厚生水道委員会
一、共同住宅の出窓二十ヶ所附設について、工事内容について、村松委員より詳細報告あり、全員承認をなす。

十二月二十六日 全員協議会出席二十名 欠員五名
一、行政視察旅行の状況報告
1. 厚生水道委員長より岩船郡、北蒲原郡の厚生事業について報告
2. 警察消防委員長より新津、村上町の消防の施設状況につき報告
3. 土木委員長より小千谷町の土木事業及信濃川発電工事について報告。

来年度の消防施設について懇談す。
二、助役より商工信用組合の組織について報告。
三、新中の上棟式について簡素に執行すること。
四、簡易裁判所竣工につき、其の負担金について協議す。
五、新中の防火壁について現場に於て検討することとす。

七、巻中学校校舎建設請負について
八、昭和二十五年巻町歳入歳出算

六回追加予算
原案通り議決す。
九、巻町固定資産、評価員の選任に
ついて
十、専決処分報告承認を求めると
大蔵省預金部の起償について償還
年限及利率変更について報告あり
承認を与えた。

十二月二十五日 土木委員会
一、建築基準法について、県土木出張所長北村氏、岡村技師の説明を聞く。
二、制水間の工事竣工について報告
三、登雪橋の廃棄材の処理について協議。
四、割前筒取入口の設計について設計者と再協議をなすこととす。
十二月廿六日 厚生水道委員会
一、共同住宅の出窓二十ヶ所附設について、工事内容について、村松委員より詳細報告あり、全員承認をなす。

十二月二十六日 全員協議会出席二十名 欠員五名
一、行政視察旅行の状況報告
1. 厚生水道委員長より岩船郡、北蒲原郡の厚生事業について報告
2. 警察消防委員長より新津、村上町の消防の施設状況につき報告
3. 土木委員長より小千谷町の土木事業及信濃川発電工事について報告。

来年度の消防施設について懇談す。
二、助役より商工信用組合の組織について報告。
三、新中の上棟式について簡素に執行すること。
四、簡易裁判所竣工につき、其の負担金について協議す。
五、新中の防火壁について現場に於て検討することとす。

七、巻中学校校舎建設請負について
八、昭和二十五年巻町歳入歳出算

九、巻町固定資産、評価員の選任に
ついて
十、専決処分報告承認を求めると
大蔵省預金部の起償について償還
年限及利率変更について報告あり
承認を与えた。

十二月二十五日 土木委員会
一、建築基準法について、県土木出張所長北村氏、岡村技師の説明を聞く。
二、制水間の工事竣工について報告
三、登雪橋の廃棄材の処理について協議。
四、割前筒取入口の設計について設計者と再協議をなすこととす。
十二月廿六日 厚生水道委員会
一、共同住宅の出窓二十ヶ所附設について、工事内容について、村松委員より詳細報告あり、全員承認をなす。

十二月二十六日 全員協議会出席二十名 欠員五名
一、行政視察旅行の状況報告
1. 厚生水道委員長より岩船郡、北蒲原郡の厚生事業について報告
2. 警察消防委員長より新津、村上町の消防の施設状況につき報告
3. 土木委員長より小千谷町の土木事業及信濃川発電工事について報告。

来年度の消防施設について懇談す。
二、助役より商工信用組合の組織について報告。
三、新中の上棟式について簡素に執行すること。
四、簡易裁判所竣工につき、其の負担金について協議す。
五、新中の防火壁について現場に於て検討することとす。

七、巻中学校校舎建設請負について
八、昭和二十五年巻町歳入歳出算

九、巻町固定資産、評価員の選任に
ついて
十、専決処分報告承認を求めると
大蔵省預金部の起償について償還
年限及利率変更について報告あり
承認を与えた。

十二月二十五日 土木委員会
一、建築基準法について、県土木出張所長北村氏、岡村技師の説明を聞く。
二、制水間の工事竣工について報告
三、登雪橋の廃棄材の処理について協議。
四、割前筒取入口の設計について設計者と再協議をなすこととす。
十二月廿六日 厚生水道委員会
一、共同住宅の出窓二十ヶ所附設について、工事内容について、村松委員より詳細報告あり、全員承認をなす。

お知らせ

第三回成年式次第
式場 巻町公民館
日時 昭和廿六年一月十五日
午前十時より
主催 巻町公民館
後援 巻町青年団
婦人会
みりの会
プログラム
成年式 保刈 郡司
式辞 水倉 新作
宣誓 大関 正治
祝辞 町會議長 小林十四三
中学生代表 池田孝一郎
婦人代表 倉品千代子
答辞 佐藤 栄子
閉会の辞 石山 欣輔
記念撮影
講演会 新潟大学植村教授
成年者による芸能大会



巻町公民館で毎月発行しております館報「まき」も皆様方の愛情にいかれつつ時には皆様の代弁者となり又連絡機関をも兼ねて生々発行が続けられ、やがて十六号を皆様の御手許にお届けすることが出来ました。御協力を感謝致しております。就ては皆様によつて其の内容が盛られてはいる館報「まき」を当町出身の那又は県外に在住されている方々に館報「まき」をお送りしたいという御希望の方は何時でもその方の住所氏名を添いて巻町公民館に申し出下さい。郵送料一年五十円で公民館で直接その方に郵送致します。

- 石山 欣弥
1. 独立公民館の設置
 2. 公衆便所の設置
 3. 町営住宅の整備拡充
 4. 巻時間の廃止
 5. 正月の二回制を廃止
- 齋藤 順作
1. 町警署新築のための起債許可
 2. 集会時刻の厳守
 3. 小学校第二運動場の公会堂的設備
 4. 青年団女子部の活躍
 5. 中学校の便所の完成
- 倉品 克一郎
1. 下水道の完備
 2. 町内主要道路の舗装
 3. 農業学校の整備充実
- 小林 十四三
1. 神社、寺院、境内の開放による児童の遊び場の設置
 2. 道路の補修、下水の整備について五年乃至七年位の計画立案の上、一年次分の着手
 3. 消防施設の充実と団員の平均令の低下
 4. 課税の公正を期する一大町民運動の展開
 5. 中学の施設充実と屋内運動場、便所の完成
- 幸田 久作
1. 公民館の建設
 2. 赤箱へ水道延長
 3. 町道の修理(手入)
 4. 産業補助費増額
 5. 賢実にして実行力ある町議選出
- 倉品 千代子
1. 停車場道路の舗装に続き主道路舗装拡張
 2. 下水工事の完備
 3. 公民館専用の建物(希望)
 4. 女子青年団の運動活潑
- 本間 孝一
1. 公民館の建設
 2. 赤箱へ水道延長
 3. 町道の修理(手入)
 4. 産業補助費増額
 5. 賢実にして実行力ある町議選出
- 倉品 千代子
1. 停車場道路の舗装に続き主道路舗装拡張
 2. 下水工事の完備
 3. 公民館専用の建物(希望)
 4. 女子青年団の運動活潑
- 本間 孝一

昭和廿六年の希望

(葉書回答より) (当署順)

一年の計は元旦にあり、という格言があるが来年のことをいこうと鬼が笑うという格言もある。格言といふものは、皆人心の弱點から生じて來るもので、今日の社会の情勢は正に來年のことをいへば鬼に笑われそうであるが、今は巻町民として六年中には是非やりたいものを作りたいもの、物心両面など其の他御希望のものをお聞かせ下さい。

◎回答の結果◎

1. 公民館の新築
2. 町道の整備
3. 下水道の完備
4. 公園施設
5. 選挙に關係したものは、選挙に關係したもの

横田 栄三郎

1. 選挙の明朗化(出鱈目の棄権防止運動は危険)
2. 中学校の備品を充実させるべく努力する
3. 中学校の便所の完備
4. 科学博物館の建設
5. 公民館設置

中野 よし

1. 独立公民館の設置

1. 中学屋内運動場拡張整備町営グラウンド完成
 2. 集会時刻の厳守
 3. 独立公民館設置
 4. 町議選出議員の反省により來年度選挙への希望
 5. 公衆衛生教育
- 中野 文作
1. 小型消防自動車購入・消防団の改組
 2. 県立総合病院の設置
 3. 巻町より県議員の選出
 4. 朝市場の発展振興
- 笠原 俊次
1. 巻小学校校舎増築
 2. 巻町公会堂(公民館兼用)設置
 3. 巻町の清潔浄化の徹底
 4. 巻町商業の発展策の樹立
 5. 町内の主な道路の舗装
- 田中 安定
1. P.T.A.の正しい認識
 2. 農村婦人の地位向上
 3. 保衛隊の普及
 4. 小公園の設置(児童遊園地)
 5. 小公園の設置(児童遊園地)
- 田中 安定
1. プールを作りたい
 2. 下水道の設備の完備
 3. 巻「まき」新聞の増大
 4. 小博物館の設立
 5. 公園緑地帯の設置
- 河内 長水知
1. 中学校第三期工事の完了
 2. 信用協同組合の設立
 3. ガス事業の健全なる発展
 4. 下水道着工への考慮
 5. 文化的事業の一層の活潑化
- 竹内 長水知
1. 減税
 2. 町立図書館の設立
 3. 失業対策と豊湯の早期开拓
 4. 民生委員公民館委員の公選
 5. 町営住宅の大拡張
- 八木沢 菊藏
1. 町税を安くしたい
 2. 道路排水を整備して心地よい街にしたたい
 3. 高等学校の完備
 4. ガス開発への協力
 5. 火災防止
- 沢 栗 健一郎
1. 一般町道路其の他交通面の土木事業
 2. 一般税の納入と現在よりも樂に納入出来る様町当局より最善施策を考へてもらいたい
 3. 本町通りの舗装
 4. 青年及婦人運動の活潑化
- 八木 滋 豊

やみ汁

「やみ汁」開業—何が出るやら、ふたをあけてみれば、おたのしみ。誰れか持つて来たか料理人もわからない。

「正月を一月にするか二月にするか」近頃の政府と議会にならつて、町条例制定の請願でもするか。(C)

「百姓一日やつてみる！」

討論会中沢氏に放された「ヤジ」これが正しいなら男の産婦人科医など言語同断!

カネがないために死ぬ人がある世の中だからお寺にカネをあげましたとき(Y生)

1. 町会改選による有能新進議員の選出
2. 耕芥処理の完全迅速化下水完備
3. 神社境内に児童遊園地の設置
4. 町道修理清掃
5. 二度あるお正月の統一

高田 弥雄司

1. 前掲(先月の反省)事項に対する反省と指導への努力
2. 一般町民の自治町政に対する無関心を啓蒙する運動
3. 負担の公平を図る運動と当事者の努力
4. 民生事業の正しい運営と拡大強化
5. 農業協同組合を組合員の手による組合員のものたらしめること

佐藤 昭吾

- 公民館だより
- 十二月四日、五日 弥彦村 郡公民館職員講習会
- 十二月十五日夜 小学校 評議委員藤江二先生を囲む座談会
- 十二月十六日夜 公民館 第八回「ものをきく」会
- 朝鮮動乱と世界状況について 新潟日報社 森田甲子三氏
- 十二月十七日午後一時より 第五回婦人講座
- お正月料理の作り方について 巻高校 宮島先生指導
- 十二月二十日夜 公民館 第三回成人式打合せ会
- 十二月二十五日午後二時農協 農業講座開講準備会
- 一、珠算、簿記、習字、時事問題 毎週月曜日夜
- 二、華道、礼法 毎週金曜日夜
- 十二月二十七日夜 公民館 討論会並に地方自治確立講演会
- 一、地方自治確立講演会 講師 阿部吉田町中学校長 田宮西浦原民生課長
- 二、討論会 昭和廿五年反省討論会 講師(イロハ順) 笠原 修次氏 高田 弥雄司氏 竹内長水知氏 古俣 保氏 司公——河治 忠氏
- 昭和廿六年一月の予定事業
- 婦人講座 時田 虎雄氏 染色講習会

- 中甸 ものをきく会
- 国又は県内の状況について 一月十五日午前十時より公民館で成人の日
- 別稿の通り成年式の打合せも済み準備がすすんでおります。
- 昭和六年に生まれたお子様をおもちの家庭では赤飯かなにかでお祝して上げて下さい。
- 下旬 第十一回討論会 巻町民として昭和廿六年における希望(物心両面) 討論会
- ◎定期講座
- 一、英語科 桑原 進氏 英会話 毎週月曜日 高校 山岸先生
- 二、普通科社会(世界史) 毎週木曜日 高校 本多先生
- 以上巻小学校で時間午後七時半より九時半まで
- 三、農業科珠算 毎週日曜日 本戸 清吉氏 華道 毎週金曜日 吉崎 正英氏
- 以上会場巻協協会上時間は午後七時半より九時半まで
- ◎お知らせ
- 巻町初心者俳句研究会が最近巻町に生れました。誰れでもがこの会に参加出来ます。斯道に志す者の入会を希望しております。
- 入会希望者は 七区 竹野園物店 八区 村井理髮店 御申込み下さい

婦人会だより

戦後巻町婦人会が歩みを進めて今年で三回目の新年を迎えるのである。

万事を民主的に即ち会員の総意によつて会を運営して行くといふ事が私達の第一の目標なのであつて、過去二年間に涉り平凡且つ幼稚ではあるが、婦人の教養の向上或は社会の奉仕面に努力を惜しまなかつた。

昭和廿六年度は日本の社会状況も世界的に客観状況からしても極めて多事多端な実情に直面して居るので此の急迫した中にあつて私達婦人の行くべき役割は一体何にあるかをしつかり把握して、この緊迫した世の中に善処してゆかねばならぬと思はれるのである。そして出来るだけ早く安定した自由な日本を打ち立て、楽しい生活に入りたいと思ふ。

昭和廿六年年度目標

- 一、正月は新一回にする。
- 一、集会の時間励行
- 一、予算生活の実行
- 一、会員は団体行事に積極的に参加する
- 一、会員は教養向上に努力する事
- 一、一月の予定行事

一、染色講習会 講師 時田 虎雄氏

一、新年会 一月七日頃

◎新年子供供あそび(一日十時より)

皆様の御協力によつて作られた暗幕装置を使つて第二運動場で映画大会を開き楽しい新年の喜びを味わいたいと思ひます

◎冬休の生活反省をします

地域PTA会(三、四日)

各学年の先生方が地域にかけ休眼中、学校をなれて居る子供達の実状について父兄の皆様と色々御話し合いをしたいと思います。幻燈映写会もありです。おたのしみです。おたのしみです。おたのしみです。

三、四日午後六時半より (会場は交滞中)

十一、十二、十三区 (正念寺)

八、九、十区……(農協)

五、六、七区……(農協)

四日午後六時半より (十二区小林さん方)

一、二、三、四区……(千仏堂)

赤箱……(公会堂)

◎第一期冬休終了(七日)

◎第三期始業式(八日)

◎創立記念日(十五日)

◎明治六年に創立され七十九年目になります

◎芸能祭 (二十、二十一日、二十七日、二十八日、二十九日、三十日)

冬休み前からずっと苦心しつづけて来た劇、舞踊、音楽が多数用意してあります。どうぞ御出下さい

ねずみのむことり(低学年部) 白雪姫 (中学年) 虫の世界 (高学年) 笑うお面(全校演劇研究部) 童話めぐり(全職員)

◎第二期冬休が始まります(三十日)

農家だより

漆山地区農業改良普及事務所では十二月十三日午前十時依り、管内町村青年団体大会を開催 参加十五団体、先づ田辺委員長挨拶の後、議長に巻町修農会水倉六郎君を推薦、

記録係に巻町修農会内藤富士夫、並木横岡NPKクラブの石山石次郎の両君を選任、左記議題を中心にした活潑な意見を交換成果を修めた。

議題 クラブ活動の諸問題

(イ)各団体の活動状況発表

(ロ)各団体活動の批判

(ハ)女子クラブ活動主に批判及感想

決議事項(イ)この様な会合を毎月一回を原則とする

(ロ)集合の際一クラブ一議題を持参する事

(ハ)次回は最初回はその程度決定する

尚巻町修農会より

水倉 六郎 小林 雄以 内藤富士夫 長谷川ツヤ 佐藤 キイ 長谷川キヨ 小林 春枝

尚巻町修農会より

巻町みのり会より

の諸君が出席された。

修農会、みのり会では公民館後援の下に來年一月上旬より三月中旬までの毎週夜、月、金曜の二日間農協に於て農業定期講座を開講する事に決定講習科目は礼法、書道、華道、珠算目下受講生を募集中。

みのり会では師走三十日農協に於て栄養料理コンクールを開くが、二班各三名一組とし一組以上出場する事とし、種目は馬鈴薯を主としたもの、卵を主としたもの、味噌汁以上の三品を一時間以内で作る事。

尚審査委員は左記の四氏

農業改良課生活改良普及員 田代 光子 吉田地区生活改良普及員 解良 千秋 巻町公民館長 齊藤 順作 巻農協生産課部長 長島太郎一

教欄育

巻小全校 P・T・A

委員会だより

一、組織について
各学年 P・T・A との連絡機能をもち
又全校 P・T・A とし、独自の進み方
を使命とする本委員会は、各学年の
御承認により去る十月卅日発足しま
した。

全校 P・T・A 委員会は各学級三名づ
つの代表者八十四名によつて構成さ
れていきます。全校 P・T・A 委員会に
提出する原案を作成するため、全校
P・T・A 委員中から各学級一名づつ
で特別委員会を構成してあります。こ
の特別委員会は教養文化部(父兄、
児童、教師の教養向上)保健厚生部
(児童健康増進と教師の福利厚生)
生活指導部(地域における児童訓育)
施設部(教育的環境整備)にわかれ
ていきます。

二、活動について——第二回全校 P
T・A 委員会)
十二月二十二日 午後二時から、折
からのみぞれまじりの寒さも委員
の熱意にけしとばされ、五時まで
活潑に話が進められた。

(1) 小学校芸術祭をみなさんから楽し
く見て頂くにはどうすればよいか
(教養文化部提出)
学校側の原案 部の意見を勘案し
て作成された原案の承認。
一月廿五、六日公開、廿六日夜間
公開、観覧者の会場整理について
の協力方。

(2) 学校給食をおいしく食べさせるに
はどうすればよいか(保健厚生部)
今までの給食費を増さずに子供達
が、おいしく楽しくいたたく方法
を研究してみました。
給食費は毎日平均十五円八十二銭

かかつていましたが、このうち実
際に子供の口に入らぬ経費(備品
人捐、燃料費など)が五円九十五
銭になつています。このお金で子
供達の喜ぶもの——パンなど——
をつけることができないものでし
ょうか町当局にお願いしてみよう
とにきまりました。

(3) 冬休中に地域 P・T・A を開いたら
どうか(生活指導部提出)
休暇中、学校の手をはなれる子供
達の不良化を防ぐためには父兄、
学校一体の生活指導が重要である
ことを承認して頂く。

別項「巻小だより」に説明してあ
る日割、場所での地域の父兄と
先生方が子供達の生活状態などに
ついて話し合いをすることにした。
(4) 学校の緊急必需品で今不足してい
るものにどんなものがあるか。
(施設部提出)
ポーター、図書棚、マット、踏
切板、ボール、レコード、小太鼓
楽器棚、寒暖計など。

価格になおして五万四千円になり
毎日の仕事に是非入用なのですが
学校予算も限られていますので、
出来得る限り学校予算から購入す
ることとし、出来ない場合は何と
か操作を考へてみることにしまし
た。

(5) 雑件(事務局提出)
P・T・A 委員会定例日をどうする
か。毎月廿五日前後に開催するこ
と。
暗幕装置作成報告
巻小作品展中御協力を願つたバザ
ーの純益金で第一、二運動場併用
の暗幕、総合研究室の暗幕が完成
されました。今後全校映画芸術祭
も完全に行なわれることとしてし
ょうとして作成によせられた会員の献
身的な奉仕御協力について細かな
報告がありました。

正しい訓練を

巻小 南須原達夫



訓練は法則を身につけさせる教育法
である。これは秩序の為に自己抑制
を促進させる重大な方法である。訓
練された人とは、秩序の為に自己を
抑制する人、法則に依つて動く人だ
である。しかしこの法則を外からおし
つけるか、内に培うかによつて結果
は全くちがつたものになる。

これまでの訓練は、教師や他の権力
によつてなされる強制的な秩序づけ
或は外部からの制である。児童
や生徒を一律にきり揃へることであ
つた。
このような押しつけ訓練の結果は明
かである。吾々が現実に見る道義や
秩序の混乱は、その例証であるとい
えよう。

ただ機械的に動くように習慣づけら
れたものは、単に実践性が培はれな
いばかりでなく、一度 その枠を取
去れば、よるべき行動の基準を失つ
て、ただ衝動や本能のまに動く他
はない。

「民主主義は自由を尊重する故に訓
練は無用である」と、この考えに基
づいて子供を放任し、児童生徒に順
びて必要な指導や指示を怠つたらど
うなるか、自由とは、もつと「厳
しいものである。必して、束縛が排
除されたり、外的抑制が無くなつた
のみではない。それに代つて、自ら
の力で、きびしい自己抑制が生まれ
てなければならぬ。

俳句

年迎ふ 竹野 福幸

おほらかに初日世紀の憶土透く
我が十九來るかに吹雪沖より來
吹雪の夜斯くして父母の過去を見し
バスの震動おのが火鉢にまでつたふ
雲れ落つ頃蒼天かぎりなく親し
税苦慮しつづ百姓焚火じんと燃す

二千冊突破運動

寄贈圖書

加藤弘明氏より

ゲーテ時代の精神
ゲーテ
ホーメルロス批判
史的唯物論
善の研究
美について
私は思ふ
越後、佐渡
沖野吟
新聞の話
浜口梧陵伝
大英遊記
氣象学講話
木戸孝充(上下巻)
西郷南洲(上下巻)
大久保利通

内藤

伊豆田新陽氏より
伊藤 泰一
野崎 英雄
神戸 隆造
岡田 龍王
与謝 蕪村
竹内長 永知氏より
江馬 修
齋藤順作氏より
マルキシズムに対する宗教の立場
中島 重
カノルハイム
聖アウグステイヌス恩寵論
竹村 清(詠)

終戦六年目、人々の心にも初詣す
る心のゆとり?
初詣鳥居の影を出入づる、虚子神
域にこだまする拍手から一九五一年
廿世紀後平の幕は静かに静かに開か
れた。

編集後記

巻町一万有千の皆様明けましておめ
でとうございませう
希望の年一九五一年に先づ私達の心
をしめる大きな関心事はなんといつ
ても講和と平和の問題が私達の頭上
にほのかなる希望の光がさし初めた
ことであらう。

巻町公民館も新春とともに令を一つ
とることができましたが希望のこの
年こそ効能だつた昨年を反省し充実
した計画のもとに皆様から本当に愛
され親しまれる公民館として一九五
一年を送りたいと考えております。

批判なくして向上なし——皆様方の
公民館です。皆様方積極的にして嚴
正なる御批判こそ新潟県の巻町公民
館足らしめることとしよう。御協力
をお待ちしております。

今月より館報「まき」にやみ汁欄を
新たに設けました(今月初めて発表
した要領で)巻町内における諸問題
にして巻町の建設的意見ならば何ん
でも結構、紙上匿名は本人の自由一
つ問題五〇字以内で一人いくつ
でも可。然し投稿のものについては
弘報部に於て其の原稿を検討し取捨
は弘報部に一任下さる様おふくみ下
さい。

聖アタナシウスイ伝及神子受肉論
今井為一郎(詠)
聖アウグステイヌス伝及神の都
中山冒樹(詠)
基督教の起源
近藤宗男(詠)
万葉集
其の他多数——
松村 英一